

事業コンセプトシート

事業名

親子で育む味覚情操教育「テイスティングアカデミー」の開校

1.起業の動機

- ・これまでの会社勤めでの経験や資格を活かして、幼児の能力開発をサポートしたい。
- ・五感の教育では未開拓な分野であり、味のわかる子供の育成と親子のふれあいといった新たな情操教育の場を提供したい。

2.強み・特技

- ・幼児教育サービス企業の教材開発部門、マーケティング部門で培った経験とノウハウがある。
- ・小学校教員免許や資管理栄養士の資格を取得している。

3.社会・お客さんのニーズ

- ・昨今の食生活の多様化に対し、子供の食生活の乱れや味覚の鈍化を痛感している。また、親もその対処に苦慮している。
- ・個性を伸ばす教育が重視される傾向にあるが、味覚や嗅覚の発育をサポートすることに主眼をおいた教育機関は少ない。

4.コンセプトの基本

誰に (ターゲット)	何を (商品・サービス)	どのように (商品・サービスの提供方法)
<ul style="list-style-type: none">・A市中心部に居住する幼児、小学校低学年の生徒。・好き嫌いのない食事ができ、健康な子供に育てたいという考えを持つ親。・高所得な家庭の母親と子供。	<ul style="list-style-type: none">・室内プログラム：食材、調理技術の習得、食（和・洋）文化の理解、作法・テーブルマナー習得。・屋外プログラム：農業体験、たけのこほり、山菜採り、味噌づくり体験、食品工場見学等。	<ul style="list-style-type: none">・キッチンスペースのついた教室内で、子供に食に関する知識や食材の選択、加工技術を身に付けるための授業を行う。・会員親子と一緒に調理実習を行い、共同作業による親子間のコミュニケーションの醸成を図る。・毎月の個別ミーティングで、習熟度を親へフィードバックする。

5.目標

- ・多店舗展開をして、食を大切にする子供を増やしたい。
- ・3年後の売上70,000千円を目標にする。

6.競合の特徴

- ・A市中心部には幼児能力開発の教室が5教室存在する。例えば次の教室。
B教室：小学校受験をメインとする教室で受験の教室としては一番手。
C教室：本格的な音楽教室で、ピアノとバイオリンを指導。

7.事業の優位性

- ・能力開発系の教室でも数少ない味覚開発を主眼とする。
- ・五感を必要とするプログラムであり、他で受講することができない。
- ・受講生とその家族と一緒にプログラムに参加できる。